

大学院1年次			大学院2年次		
必修科目	教職概論 [2]	特別支援教育論[1]	教育実習指導(直前・事後) [1]	教育実習1[2]	教育実習2[2]
	教育原理[2]	発達と教育の心理学[2]	教育実習指導(事前) [0]	教職実践演習(中・高)[2]	
	総合的な学習（探究）の時間の指導法[1]、教育と社会[2]、特別活動・進路指導[2]、道徳教育[2]、生徒指導論[2]、教育相談の理論と方法[2]、教育課程編成論[1]、教育工学（ICTの活用含む） [2]				
	数学免許の場合	数学科教育論1・2[各2]		数学科指導法1・2[各2]	
	理科免許の場合	理科教育論1・2[各2]		理科指導法1・2[各2]	
める省文 る令部 科目で科学	「日本国憲法」 [2]、「体育」 [2]、「外国語コミュニケーション」 [2]、「数理、データ活用及び人工知能に関する科目」又は「情報機器の操作」 [2]				
選択科目 その他	教育心理学特論[2]、教育実習指導演習[1]、学校インターンシップ[1]、教職パフォーマンス演習[1]、教育課題演習[2]				
	教科に関する専門的事項 [20以上]				
	大学が独自に設定する科目 [24以上] (教授メディア学習論[1]、学校インターンシップ（アドバンス） [1]及び各研究科専攻、専攻科で定める科目)				

[] 内の数字は単位数
※中学校免許取得のためには介護等の体験を行う必要であり、介護等の体験を行うには、「教職概論」「特別支援教育論」の単位修得が前提条件となる。
なお、「教育実習1」「教育実習2」を履修する年度と同一年度に介護等体験を行うことはできない。
※単位の修得状況によっては、3年間かかる可能性もあるため、予め教職教育センターまで相談すること。

2026年度入学生向け教職課程履修者の履修モデル(中学・高校一種免許を取得済で、中学・高校専修免許を取得する場合)		
	大学院1年次	大学院2年次
その他	大学が独自に設定する科目 [24以上] (教授メディア学習論[1]、学校インターンシップ(アドバンス)[1]及び各研究科専攻、専攻科で定める科目)	